

2012年度 日本文化人類学会 第7回 理事会 議事録

日時：2013年3月17日（日）14:00～18:00

会場：東京外国語大学本郷サテライト 7階会議室

出席者：小泉、赤堀、上杉、岸上、窪田、栗本、佐々木、棚橋、出口、中谷、三尾、和崎

委任状提出：綾部、池田、小田、春日、亀井、清水、曾我、高倉、松田、森山、山本

〔承認事項〕

1. 2012年度第6回理事会議事録

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・ IUAES2014年中間会議の日本開催が IUAES において正式承認されたことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・ 「第10回（平成25年度）日本学術振興会賞」の学会推薦依頼が届き、理事・評議員へ推挙依頼を行い（2013年3月9日配信、3月25日締切）、現在数名の推挙があることを報告。
3. 会計理事報告
 - ・ 前回理事会で承認された WCAA への寄付500USドルの送金が完了したことを報告。
 - ・ 地区研究懇談会経費の使途に関する問い合わせに対し、地区研究懇談会規程（懇親会費としての使用は不可、研究会開催時の茶菓代への使用は可）に基づき回答した旨を確認。
4. 広報理事報告
 - ・ 前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき5件の JASCA-INFO 配信を行ったことを報告。
 - ・ 国立情報学研究所の運営する電子図書館サービスについて本学会との申し合わせの改訂が完了したことを報告。この改訂により、非学会員が『文化人類学』掲載論文を閲覧する際の料金が論文1本につき200円となったこと、機関定額制が導入されたことを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・ 『文化人類学』編集委員会：77巻4号の進捗状況及び、第7回受賞論文を78巻1号に掲載予定であることを報告。併せて、論文の査読回数に制限を設けることについて理事から意見聴取を行った。本件については委員会で原案を作成の上、次回以降の理事会へ提出することとした。また、規程枚数（字数）を超える書評が掲載されたことについて匿名の問い合わせがあったとの理事報告を受け、編集委員長名で回答を行うこととした。
 - ・ JRCA 編集委員会：Vol. 13の進捗状況を報告。
 - ・ 国際連携委員会：IUAESのコミッションから日本文化人類学会に対し、参加希望者を推薦してほしいとの依頼が届いていることを報告。本件について JASCA-INFO で広報を行うこととした。配信文案は中谷委員長が作成。
 - ・ 課題研究懇談会担当委員会：活動報告・活動計画・会計報告の提出について各代表世話人宛に依頼をメール配信したことを報告。また、研究会・ワークショップ・シンポジウムの開催情報を4週間前までに広報理事へ連絡すること、開催後は各発表の内容をHPに掲載するよう通知したことを報告。

〔審議事項〕

1. 第8回日本文化人類学会賞および第8回日本文化人類学会奨励賞受賞候補者の推薦について
 - ・ 学会賞選考委員会委員長より、学会賞選考委員会による選考結果が報告され、投票の結果、第8回日本文化人類学会賞を菅原和孝会員、第8回日本文化人類学会奨励賞を吉田ゆか子会員に授賞することが承認された。授賞理由については、最終的な文言の調整を総務会で行うことが承認された。
 - ・ 学会賞選考委員長より、学会賞受賞候補者推薦のための評議員投票率が低いことが問題点として報告された。対策について委員会で原案を作成の上、4月以降の理事会へ提出し審議することとした。

2. 2012 年度事業報告案・2013 年度事業計画案について
 - ・棚橋理事より、資料に基づき 2012 年度事業報告案・2013 年度事業計画案について説明があり、担当部分を含めて全体を確認するよう理事に要請がなされた。
3. 2012 年度決算案・2013 年度予算案について
 - ・三尾理事より、2012 年度決算案（2 月末締暫定案）・2013 年度予算案について資料に基づき説明があり、次回理事会で引き続き審議を行うこととした。
4. 名誉会員の推薦について
 - ・2013 年度に日本文化人類学会名誉会員内規第二章、第二条の条件を満たす名誉会員候補資格者 1 名を名誉会員候補者として推薦することが承認された。今後の手順として、ご本人の意向を確認する手紙を発送し、承諾を得られた場合、理事会から評議員会への推薦、評議員会から 2013 年度総会への推薦を経て、同総会で審議することを確認した。
5. 学会 50 周年記念事業について
 - ・小泉会長より、日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会について学会 50 周年記念事業検討委員会での検討を経た次の事項について報告がなされ、了承された。
 - ①第 48 回研究大会担当校について首都大学東京に正式に交渉を行った結果、承諾を得た。また、第 4 回学会 50 周年記念事業検討委員会終了後に千葉大学へ正式な協力依頼を行う。
 - ②学会 50 周年記念事業検討委員会で承認された call for paper 予告（英語版）を提示し、近日中に HP へ掲載。同日本語版（日本語発表者への説明含む）も同時に掲載予定。
 - ③学会 50 周年記念事業検討委員会（及び準備委員会）の副委員長に栗本総務理事と綾部理事を任命。これに伴って、綾部理事の職掌を学会 50 周年記念事業担当理事とする。
 - ④学会 50 周年記念事業検討委員会委員長と副委員長に一任の補佐選考の結果、石田慎一郎氏（首都大）、井本由紀氏（慶應大）、山口（黒崎）裕子氏（一橋大）の 3 名をこれに任命し、職名を会長補佐に統一する。
 - ⑤学会臨時事務局員の雇用について理事に候補推薦を募り、選考は総務会一任とし、結果を次回理事会で報告する。
 - ⑥キーノート・スピーカーについて、James Ferguson 氏（Stanford 大学教授）に打診した結果、内諾を得た。なお、他のキーノート・スピーカー候補選定と実施体制について学会 50 周年記念事業検討委員会委員および理事に提案を募ることとした。
 - ・日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会について学会 50 周年記念事業検討委員会での検討を経た次の事項について審議を行った結果、承認された。
 - ①call for paper 予告（英語版）の内容。
 - ②call for paper に関するスケジュール大枠：
 - (1) 早急に call for paper の予告（英語版）を学会 HP に掲載する。同日本語版（日本語発表者への説明含む）は委員長と副委員長が中心となり作成し学会 HP へ掲載する。
 - (2) call for paper の本編の具体的内容については、開催 1 年前の 2013 年 5 月に周知公開することを目途に早急に内容を確定する。
 - (3) call for paper の締切を 2013 年 12 月末に設定。
 - (4) 参加登録（early bird 枠）を 2014 年 3 月末に設定。
 - ③研究大会の正式名称：
 - （日本語） 日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会（IUAES 2014 合同開催）
 - （英語） JASCA 50th Anniversary Conference + IUAES Inter-Congress 2014
 - （略称） IUAES 2014 with JASCA
 - ④全体テーマ：
 - （英語） “The Future with/of Anthropologies”
 - （日本語） 「人類学の明日（あした）、人類学との明日（あした）」
 - ⑤NomadIT の会社概略（実績）の審議検討を経て、オンライン環境構築を NomadIT に委託することを決定。併せて、同社に学会 50 周年記念国際研究大会ロゴ・マークの作製、参加登録他の情報管理を委託する。
 - ⑥2013 年 3 月 31 日付で学会 50 周年記念事業検討委員会を廃し、同年 4 月 1 日付で学会 50 周年記念事業準備委員会を発足させる。同準備委員会の体制と構成については、原案（叩き台案）を元に、

委員選出も含めて、小泉委員長の下で最終案を早急に策定する。

- ・国立新美術館・国立民族学博物館・日本文化人類学会の三者共催事業について、国立新美術館のスタッフが国立民族学博物館を訪れ収蔵品を確認したことを報告。これを基に2013年4月に展示内容等の具体的構想を検討することを報告。
6. 第25期各種委員会の構成について
- ・学会50周年記念事業検討委員会（及び準備委員会）の副委員長および会長補佐の任命、さらに綾部理事が学会50周年記念事業担当理事に任命されたことに伴い、第25期各種委員会の構成に次の変更を加えることが承認された。
 - (1) 学会50周年記念事業検討委員会
 - ・副委員長の任命：栗本英世、綾部真雄（学会50周年記念事業担当理事）
 - ・新委員（会長補佐）の任命：石田慎一郎（首都大）、井本由紀（慶應大）、山口（黒崎）裕子（一橋大）
 - (2) 研究大会運営検討委員会
 - ・委員長の交代：【現】綾部真雄 ⇒ 【新】春日直樹
 - ・新委員の任命：佐々木重洋
 - (3) 学会歴史委員会
 - ・委員長の交代：【現】綾部真雄 ⇒ 【新】栗本英世
 - ・新委員の任命：岸上伸啓
7. その他
- ・2013年度理事会開催日（4月、5月）について日程調整を行うこととした。
 - ・2012年度事業報告案・2013年度事業計画原案を理事会メーリングリストで配信するので、各理事は担当部分について確認の上、棚橋理事へ回答するよう要請がなされた。
 - ・2013年度予算要求について三尾理事へ至急連絡すること、ならびに2012年度地区研究懇談会収支報告書の提出締切が4月5日であることを各理事に確認した。

以上